

07/25・GAFA規制、米競争政策転機 M&Aやデータ寡占争点 議会に「分割論」も

- ・「何が何でも10月離脱」 英ジョンソン首相、就任演説
- ・日韓対立 WTO出席国距離置く 「2国間問題」、「理解苦しむ」

07/26・英ジョンソン政権、穏健派一掃 10月のEU強硬離脱へ体制整備

07/27・北朝鮮「新型兵器を発射」(25日) 韓国の軍事演習警告と主張

- ・米、4~6月2.1%成長に減速 貿易戦争で輸出減
- ・ファーウェイ、中国で来月5Gスマホ 米制裁「自前」で対応
- ・米英首脳、EU離脱後FTA交渉 電話会談で一致

07/30・日銀、金融緩和維持を決定

- ・英ポンド安が加速 2年4カ月ぶり 「合意なき離脱」警戒

08/01・米、10年半ぶり利下げ(31日) 0.25%、景気悪化予防 < 1 >

FRB 長期緩和は否定 資産縮小も終了前倒し 米大統領の圧力拒まず
トランプ氏「パウエル氏に失望」利下げ継続に圧力 NY株333ドル安、追加緩和の期待後退

08/02・対中関税第4弾来月発動 トランプ氏表明(1日) 年33兆円分対象 < 2 >

日経平均、一時500円超安 円上昇、106円台後半
米産業界、一斉に反発 撤回訴え 消費財網羅、米中とも打撃

- ・輸出優遇国 28日に韓国を除外 閣議決定(2日) 管理厳しく < 3 >

08/03・「第4弾」しびれ切らず米 大統領選控え強硬 対立激化、市場再び動揺

トランプ氏、中国に譲歩要求「すべきことが多い」
米企業に代償必至 生産移管や値上げ不可避 設備投資・消費に影響

- ・米、対中貿易13.7%減(1-6月) 最大相手国、メキシコに
- ・米雇用16万人増に減速 7月、対中摩擦が下押し圧力

08/04・世界でリスク資産回避 先行き不安、金・円は上昇

08/05・円急騰、一時105円台後半 日経平均は500円安 人民元11年ぶり安値

- ・世界の企業収益、再び減(4-6月) 貿易摩擦、アジア製造業直撃 米IT一人勝ち

08/06・人民元、崩れた7元の壁 中国指導部、容認の見方

不振の輸出下支え 資本流出には警戒

- ・米、中国を為替操作国に指定(5日) 25年ぶり、圧力強める < 4 >
NY株767ドル安 下げ幅、今年最大 日経平均一時600円安 市場動揺やまず

- ・中国、米農産品の購入一時停止 関税「第4弾」に対抗
- ・北朝鮮、飛翔体2発 2週間で4度目 米韓演習に警告

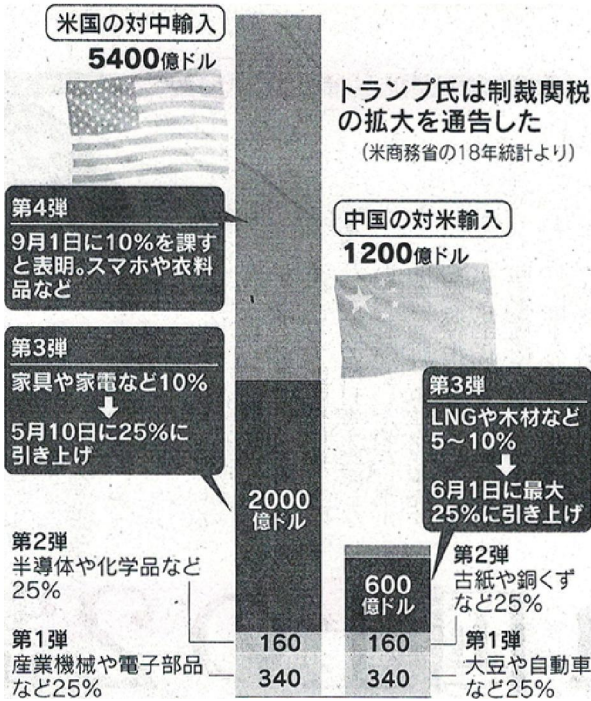
<1>

米金融政策会合のポイント
政策金利を年2.00~2.25%に引き下げ
景気基調が底堅いなか、景気悪化を未然に防ぐ「予防的利下げ」に踏み切る
F R B 議長「政策のサイクル半ばでの調整」と述べ長期の利下げ局面入りは否定
保有資産の圧縮終了を従来の9月末から2カ月前倒し
議長「政策決定では政治的な配慮は入れない」
全会一致ではなく10人中2人が利下げに反対

<3>

2段階で輸出管理を厳しくする		
	第1弾	第2弾
開始時期	7月4日	8月28日
対象品目	<ul style="list-style-type: none"> ○フッ化ポリイミド ○エッチングガス ○レジスト の3品目	「優遇対象国」から韓国を除外 ↓ 食品、木材などを除く全品目のうち経産省が指定する案件
必要な対応	個別の輸出ごとに審査・許可	

<2>



<4>

▼為替操作国 米財務省が、經常収支を調整したり貿易で競争上の優位を得たりするため為替を操作しているため判断した国を指定する。指定した国とは協議を実施し、為替介入の透明性確保や通貨切り上げを求めたりする。相手国の改善が見られない場合は輸入品への関税など制裁措置に踏み切る規定もある。

半期ごとに主要な貿易相手国の通貨政策を分析する。

米貿易黒字が年2000億ドル以上②經常黒字が国内総生産(GDP)比で2%以上③為替介入による外貨購入が1年で6カ月以上かつGDPの2%以上④の条件を分析。原則2つに該当すれば「監視リスト」に指定する。3つすべてに当てはまれば、制裁を検討する対象となる「為替操作国」に指定することがある。